

科目名	コマース研究ゼミナールⅡ	科目コード	1210	単位数	2
担当者名	柳川 博	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次

● 授業のねらい

第二次世界大戦後の国際経済を主題として、表記のテキスト・参考書を活用し、プレゼンテーションとディベートを通して、戦後の日本経済と国際経済の課題を解決する道筋を自ら発見することをねらいとする

● 到達目標

- ①戦後の国際経済の現状理解を通して得た情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現する能力を身につける。
 - ②新たな課題を発見し、関連するデータや最新の情報を収集・分析・整理し、その課題を解決する能力を高める。
- これら2つの目標を達成し、国際ビジネスや国際観光を担う基礎的な能力を身につける。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：ゼミの進め方・課題発見と解決の方法
- 2週目 戦後国際経済への5つの視点①（市場の浸透と公共部門の拡大）
- 3週目 戦後国際経済への5つの視点②（グローバリゼーションと米国の時代）
- 4週目 戦後国際経済への5つの視点③（所得分配の不平等）
- 5週目 戦後国際経済への5つの視点④（グローバル・ガバナンス）
- 6週目 戦後国際経済への5つの視点⑤（市場の設計と信頼）
- 7週目 不足と過剰の60年①（人口・エネルギー・技術の変化）
- 8週目 不足と過剰の60年②（資源と食料・エネルギーの転換）
- 9週目 復興と冷戦①（モルゲンソー・プランとマーシャル・プラン）
- 10週目 復興と冷戦②（貿易の枠組みと国際通貨体制）
- 11週目 復興と冷戦③（ソ連の農業と科学技術）
- 12週目 復興と冷戦④（通貨改革と経済の奇跡）
- 13週目 混合経済の成長過程①（日米の経済競争）
- 14週目 混合経済の成長過程②（雇用法とケインズ政策）
- 15週目 混合経済の成長過程③（欧州経済の多様性）
- 16週目 総括討論（1970年代以降への展望）

● 準備学習(予習・復習)等の内容

報告が予定されるテキスト該当部分を精読し、疑問点や課題を析出しておくこと。ゼミ終了後はディベートで導出された新たな課題や問題点の解決策を検討する。関連する参考資料・参考文献はCoursePowerに掲載するのでその都度確認すること。予習と復習は、各週それぞれ2時間以上が必要である。

● 成績評価の方法・基準

レジュメに基づいたプレゼンテーションを2回とレポート提示を求める。成績については、プレゼンテーションとレポートの内容を70%、ディベートへのコミットメントを30%として評価する。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

司会者、報告者、総合討論者を輪番で担当し、プレゼンテーションとディベートを通して課題の発見学習と問題解決学習を進める。担当するそれぞれの役割に応じた準備を行ってゼミに臨むこと。無断欠席は認めない。連絡事項はCoursePower上で行うので、その都度確認すること。「オフィス・アワー」を利用して思考を整理してみよう。

● テキスト

猪木武徳『戦後世界経済史 自由と平等の視点から』（中公新書）940円+税
なお、ゼミナールⅡでは本テキスト第1～3章を利用する。

● 参考書

末廣 昭『新興アジア経済論』（岩波書店）
吉川 洋『高度成長』（中公文庫）
必要に応じてCoursePower上で紹介する。

● 更新日付

2019/01/31 03:52